

日時 10月23日（金） 7：30スタート

会場 紫雲ゴルフ倶楽部

・ロータリー米山記念奨学会より 1997年度事業報告書送付の件

委員会報告： 親睦委員会 丸山（誠）

世紀末親睦メニューで「食い道楽コース」と「じょんのびコース」を合体させて、良いコースを設定しますので皆様ふるってご参加下さい。

ニコニコボックス：	22日現在累計 184,484円
------------------	-------------------------

落合益夫君 I・M、参加者の皆さん、誠にご苦勞様ございました。ありがとうございました。

梨木建夫君 //

大野新吉君 ガーデンチャペル竣工式にご出席頂きありがとうございました。今後より一層ガンバッテ行きます。ありがとうございました。

山崎 勲 君

ロータリー財団ボックス：

長谷川博一君 IMに参加させていただいて、色々な面にわたり得をしました。

大野新吉君 ニコニコと同文

米山奨学会：

堀川正幸君 エトの会のゴルフコンペで優勝したことを地獄耳の羽賀さんに聞きつけられてしまいました。

早川 瀧 雄 君 9月15日干支（い）の会のコンペ（20組）で堀川さんが優勝、外山さんが準優勝されました。あめでとうございました。

大野新吉君 ニコニコと同文

クラブフォーラム： 98年9月20日 分水町文化センターでのIM報告

I・M報告 落合会長

1998～99第2560地区新潟第4分区のInter City Meetingが9月20日（日）分水ロータリークラブのホストで分水町文化センターで開催されました。ゼネラルリーダーには、パストガバナー藤田説量氏を迎え行なわれました。

I・Mの狙いは、クラブメンバーのインフォメーションにあると同時に、各クラブの活性化を図ることが目的であると教えられました。今回のI・Mでは平野政寛新潟第4分区代理は、各クラブ退会防止、会員増強等、各分野の活躍を5分間で発表して下さいとの事でしたので、当クラブは会報、親睦のそれぞれの新しい試みを報告いたしました。

全体では各クラブの現況報告になりましたので平野分区代理が目指された事と実際には食い違いがあったと思います。情報を提供して下さいました会報、親睦委員会に感謝いたします。

クラブ奉仕（A）堀川会員

◦三条ロータリークラブ 細井増雄会長

会員増強、退会防止に苦慮している。

◦加茂ロータリークラブ 吉田慎一郎会長

ここ3年間で会員が10名増えて念願の50名になった。現在51名であるが、女性会員を入れ、新会員の退会が全くない。

◦見附ロータリークラブ 小坂井優会長

会員の参加が多い。会員が少ないので協力が必要であるが、会長、幹事慰労会をはじめ、その他色々な場に多数夫人が参加している。

◦田上あじさいロータリークラブ 樋口利男会長

創立5年目であるが、創立時39名だった会員が現在25名と14名も減っているのでクラブ運営上大変困っている。

クラブ奉仕（B）佐藤（啓）副委員長

1 昨年、暑い日であった為、夏休み気分であじ振りに当クラブの会員と、バスで分水町の会場へ向った。私が印象に残ったことは次の通りであった。

- (1)基調講演で藤田説量ゼネラルリーダーが、ポリオプラスについて、資金の目標額を集めたが、未開地や共産圏等で注射を射てないところが20%程残ってしまった。(フィリピンは完了した。)金を集めただけでは駄目であって、ボランティアで未開地に注射を打ちに行き、風土病に感染して死亡した人も居るそうだ。

残りの地域についてもポリオプラスをやることを重田ガバナーが決議した。戦争をやめさせられないが、ポリオプラスで死者を出さないようにしたいので、クラブ当り1000ドルか2000ドル程度だが2年位協力して欲しい。

- (2)岡田健一大委員長より、3年後位に2560地区が群馬県と新潟県に分轄されそうだ。その後は各県とも予算が小さくなるので新設クラブを作らなければならない。そこで第4分区内に良寛クラブを誕生させたい。スポンサークラブは分水クラブになってもらうのでスポンサークラブ以外のクラブも応援して欲しい。分水クラブの活動資金にするか、何に使うかは今後決めて頂くとして、会員1人1000円拠出して欲しい。第4分區は435名居るので435,000円集まると強い要請がありました。

- (3)懇親会の順備の間の休憩時間には、文化会館の外で、分水大鼓のメンバー（20名）が笛、大鼓、大々鼓、鐘等で爽やかな演奏を聞かせてくれた。大変名演奏で、ハワイや中国にも招待されて、演奏活動をして来ているとの事であった。

少年や少女もメンバーには居て年令も幅広く、呼吸がピッタリと合っていた。又、分水酒呑童子太鼓の曲の時は、酒呑童子役の奏者が能生の装束で超大大鼓に掛登っての大演技と、名演奏を行った。

- (4)懇親会では、分水クラブの会員に和島村の久須美酒造の方が居られ（NHKの連続テレビドラマで紹介された夏子の酒のモデルとなった所）ここは“亀の屋”という大変うまい酒を出しているところだが、“夏子物語”という酒を出してあった。この酒もとてもうまく、隣の長谷川博一さんと共に、何杯も頂いてとても良い思いをして、楽しく帰路についた。

職業奉仕 長谷川（博）副委員長

参加出来て良かったというより、一歩進んで「参加して得をした」という思いがした。

1、それはまず企画運営の良さです。飽きさせず疲れさせない運営。第1部にゼネラルリーダーの藤田バスターガバナーの会長の話。少し休んで第2部の10クラブの会長の話。第3部の懇親会の前